

伊東市の子育て支援

不妊・不育症 治療費助成

不妊・不育治療を受けた方の経済的負担の軽減を図るため、申請1回につき30万円を限度とし、1夫婦あたり通算で150万円まで助成します。

初回産科受診料金助成

妊娠判定に要する費用の一部を助成します。

プレママプレパパ教室

沐浴体験、プレパパの妊婦体験やベビー用品の展示などを通じて出産に向けての具体的な話をします。出産予定日が近い妊婦さん同士で、仲間も作れます。

いで湯型 デイサービス

旅館やホテルを会場に、ママが心身共にリフレッシュでき、ママ同士の交流の場を提供する日帰りの事業です。



産後ケア事業

産後の心身の回復や育児不安を軽減するために、生活スタイル等に合った方法でサポートします。

●休養したい方

- ⇒ホテルで休養（ホテル型デイサービス）
- ⇒医療機関で休養（ショートステイ・デイサービス）

●訪問してもらいたい方

- ⇒アウトリーチサービス
- 助産師が訪問し、授乳に関する相談・乳房ケアなどを行います。

子育て支援 センター

市内の保育園、健康福祉センター内などの子育て支援センターで、子育て中の親子が気軽に集い、相互交流や子育ての不安・悩みを相談できる場を提供しています。また、地域の子育て関連情報の提供や、子育て支援に関する講座なども実施しています。

1か月児健康診査助成

1か月児の健康診査費用を助成します。

誕生祝金

新しい市民の誕生を祝い、またお子様の健やかな成長を願ってお祝い金として5万円を贈呈します。

妊娠



出産



妊婦のための いで湯型 デイサービス

妊婦を対象に、旅館やホテルを会場にして心身の休息や仲間づくりを目的に実施します。

産前産後期間相当分の 国民健康保険税の 減額及び国民年金保 険料の免除

出産（予定）者に係る産前産後の4カ月間（多胎妊娠の場合は6カ月間）分の保険税及び保険料が申請により免除されます。

育児免除制度

（令和8年10月～）

国民年金保険料が1歳になる誕生日の前月まで申請により免除されます。

妊婦等包括 相談支援事業

妊娠期から出産・子育て期まで一貫して身近で相談に応じ、必要な支援につなぐ伴走型相談支援を行うとともに、妊娠した方への経済的支援として、妊婦のための支援給付金を支給します。

＜妊婦のための支援給付金＞

- ・妊娠届出時：
妊婦一人当たり5万円を支給
- ・妊娠8か月頃：
妊娠している子供の数×5万円の支給

母子健康手帳アプリの導入

子育て世代のニーズに合わせ、伊東市の子育て情報を発信するほか、お子さんの小児予防接種の接種状況や乳幼児検診の結果をスマートフォン上で確認することができます。（稼働予定日：令和9年1月頃）

育児用品購入費助成

出産後、乳幼児用おむつ代、おしりふき、乳児ミルク等、何かと費用がかかる育児用品費用を助成します。

- ・誕生日の翌月から1歳誕生日まで
…毎月1万円
- ・1歳誕生日の翌月から3歳誕生日まで
…毎月5千円

保育所
幼稚園



幼児教育・ 保育の無償化

今までの3歳児から5歳児までの保育料の無償化に加え、0歳児から2歳児までの保育料も無償化になりました。（令和8年4月～）

小学校



中学校

高校

入学祝金

お子様の健やかな成長を祝い、小学校及び中学校進学という成長の節目にお祝い金として5万円を贈呈します。

児童館

こどもに適切な遊びの場を提供し、卓球台、図書等の整備を行い、こどもの健全な育成を図る施設です。



ファミリー・サポート・ センター

市内にお住まいで子育てのお手伝いをしたい方と子育てを手伝ってほしい方が会員となり、0歳から小学6年生までのお子さんを有料でお預かりする事業で、その利用料の半額を公費負担します。

放課後児童クラブ

共働きなどで昼間留守になるご家庭の小学生のお子さんを、学校の空き教室などで、放課後に適切な遊びと生活の場を提供し、その健全育成を図ります。

病児保育（病児対 応型）

普段は保育所などに通所しているお子さんが、病気や病気の回復期にあることにより保育所等での集団保育が難しく、かつ、保護者の方が就労などによって保育を行うことができない場合、病児保育（病児対応型）を行っている施設でお預かりします。

子ども医療費助成

子どもの保健対策を充実し、子育て世帯の経済的負担を軽減するため、お子さんが病気やけがなどにより健康保険を使って医療機関で受診した場合、保険診療の自己負担分（2割または3割）を全額助成しています。入院時の食事療養費も助成します。